

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

「何のために勉強するの」

中学副校長 乙幡 英剛

「そういうむずかしいことを聞くなと言ったろう。……つまり、あれだよ、ほら、人間長い間生きてりゃ色々なことにぶつかるだろう、そんな時に俺みたいに勉強してない奴は、振ったサイコロの出た目で決めるとかその日の気分で決めるよりしようがない。ところが、勉強した奴は自分の頭できちんと筋道を立てて、こういう時はどうしたらいいかなと考えることが出来るんだなあ。」(「寅さんの人生語録」PHP 文庫『寅次郎サラダ記念日』より)

これは、渥美清さん演じる寅次郎(寅さん)が、大学進学への不安をもつ甥っ子の満男からの「何のために勉強するの」という問いに対して答えたセリフです。楽観的なイメージの強い寅さんが、しみじみと語る印象的なシーンです。

先日の子供たちとの会話の中での言葉ですが、誰もが一度は考える問いではないでしょうか。

答えとしては、「希望する進路に進むため」という現実的なものや「多様な視点や価値観を養うため」という将来に向けてのもの、あるいは「今まで知らなかった事や分からなかった事が分かるようになると、面白いから。」という知的な興味や関心に訴えるものなどをあげられるかも知れません。もちろん答える側の経験や考え方、また質問した側の年齢や状況、互いの関係性などによって答え方は様々でしょうし、勉強そのもののとらえ方が、「知識」や「技能」の場合と「思考力(考えたり表現したりする力)」の場合では、変わってくるかも知れません。ここで寅さんが言っているのは、論理的に考え、「判断する力」の大切さだと言えます。

世の中は、選択肢(情報)に溢れています。「判断する力」は、将来子供たちが自立し、社会の中で生きていく上で、とても大切な力です。曖昧な気分や雰囲気でも影響が少ない場面と、適切な根拠に基づいた判断をきちんと積み重ねなくてはならない場面の区別ができるか。寅さんは、自らの人生を踏まえ、少しの反省と照れくささを込めて、悩める甥っ子に助言したのではないのでしょうか。

本校の「目指す児童生徒像」には、「自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力をもった子供」という一文があります。

多くの選択肢(情報)の中から優先すべき事は何か。あるいは、その場に応じた適切な行動ができるか。その判断基準を身に付けることが、自立への第一歩なのではないのでしょうか。

日々、成長していく子供たちのために、愛情とご指導をよろしく申し上げます。

運動会について

保健体育科

運動会とは関係ありませんが、長らく続いていた水不足が解消され、大変嬉しく思います。運動会の準備として、1cm単位の注意を払い、時間をかけて正確に引いたグラウンドのラインが、久しぶりの豪雨とともに消えていく様子を、嬉しい気持ちで見つめていました。後日、気を取り直して再び引いたラインが、引いたその日に豪雨で消えたとき、少し複雑な気持ちが芽生えた事を覚えています。

さて、水不足から一転、連日の雨により、予定通りの開催が危ぶまれた運動会でしたが、無事に全て実施することができました。運動会全体を見ていた立場として、子供も大人も総力戦で取り掛かるこの行事は、ただのスポーツ大会としてだけでなく、とても大きな意味をもつ行事だと感じます。

保育園の園児たちは、練習で来校するたびに元気にあいさつをし、一生懸命に取り組みます。保育園の先生方の園児たちを指導する様子を毎年見させていただいています。先生方を見ていると、子供の接し方や誘導の仕方など、学ぶことがとても多いです。

少しずつ演技、遊戯が上達し、自信をもって取り組めるようになる園児たちの成長が見られるのも、練習の過程に参加させていただいているからだと思います。本番では緊張した表情のなか、練習してきたことを発揮しようと頑張る園児の姿がとても印象的でした。

小学3～6年生のエイサーは、最初の様子から比べると、最も上達し成長を感じられた演目の1つです。腰を落とし、リズムに乗せて振り付けに合わせて太鼓をたたくのは、とても難しかったです。正直、「本番に間に合うのかな・・・。」と心配になる面がありましたが、本番の立派な姿を見て、子供たちの頑張りや、遅くまで打ち合わせや準備を重ねてきた小学校の担当の先生の思いが詰まった作品に仕上がったなと感動しました。

小学1，2年生は、短距離走が印象的でした。保育園の頃から見てきた1，2年生が、きれいなフォームで、真っ直ぐ、最後までしっかり走る姿から成長を感じました。2年生が練習の時よりも良い記録で走り、先輩としての姿を後輩に見せることができた短距離走でもありました。

中学生が一番力を注いだのはダンスです。正直、内地の中学校のように「勝ち負け」にこだわるよりも、熱く取り組み、一番充実感を味わえたのがダンスでした。ダンスの選曲や構成など、中学3年生が中心となり考えました。自主的に練習を重ね、3年生が修学旅行で不在の時も、後輩たちは一生懸命に練習し、タイトなスケジュールの中でも完成させることができました。

ムカデ競争では、PTAチームに2連敗中で「絶対に負けられない闘い」がありました。3年生が修学旅行中も練習ができるよう、「1年生ムカデ作戦」で挑みました。1年生が練習を重ねてスピードあるムカデを完成させ、2，3年生は経験を活かし、ミスをしないムカデとなり、両者がかみ合い勝利を奪還することができました。

運動会は、母島小中学生にとって、「無理だ」と思っていたことが「頑張ればできるんだ」ということを体験でき、自信を高めることができる貴重な行事の1つです。来年度もまた新しい挑戦をしていけたら良いなと思います。

父島移動教室

小学校6年担任

父島移動教室へ出発の日。朝から雨が激しく降っていました。「こんな天気で行けるの？」
「船、大丈夫かなあ。」子供たちの心の声が聞こえてきます。とりあえず、ははしま丸は出航
するとのことだったので出発式で学校の皆さんに元気一杯見送ってもらいました。準備を済ま
せて港に集合。ご家族の方々に見守られ出航しました。船に弱い2人なのですぐに寝てしまお
うと準備をしました。気付くと父島に到着。雨は小降りになっていて一安心でした。

父島での最初の活動は「シーボーンアート」です。本来は砂浜に流れ着いたサンドグラスを
材料にして作りますが、今回はお店の方に材料を用意していただき、ランプシェードを作りま
した。ガラスの破片を一つ一つ積み上げていく作業はとても根気のいる作業です。時間をか
け、じっくりと取り組んでお気に入りの作品を作り上げることができました。夜は「オガサワ
ラオオコウモリ」についての学習でした。IBOの事務所に行きオガサワラオオコウモリの食べ
物や生活について講義を聞いた後、飼育されているオガサワラオオコウモリの観察をしまし
た。エサをあげる時間だったので、にぎやかに食べる様子が観察できました。最後には、タオ
ルにくるんだオガサワラオオコウモリを抱かせてもらいました。

2日目の1番初めに行ったのは気象庁でした。とても大きな風船で気象観測をするためのセ
ンサを打ち上げる見学をしました。大きな大きな風船が空高く飛んでいく様子をしばらく眺め
「天気予報のためにこんなことが行われているんだ。」と感心していました。この日のメイ
ンはドルフィンスイムと南島遊覧でした。行いがよい6年生なので、天気に恵まれ楽しい時間を
過ごすことができました。港を出発してほどなくすると10頭ほどのイルカの群れに出会うこ
とことができました。2人がガイドさんと一緒に海に入るとイルカたちは潜ってしまいましたが、
遠くへ逃げてしまうわけではなくしばらく一緒に泳ぐことができました。その後、南島へ。少
し船酔いしてしまいましたが、休憩をとると元気を取り戻し白い砂浜と青い澄んだ海を満喫す
ることができました。午後は父島の様々な場所へ行き、学習しました。どこの施設の方々もと
ても詳しく丁寧に説明をしてくださいました。宿舎に着く前にお買い物時間を設定し、自分
のお土産だけでなく家族のことを考えながらの買い物を楽しんでいました。「先生、明日の朝、
パン屋さんに行ってパンを買いたいな。」との提案が子供たちからあり、校長先生とも相談し
て翌朝パン屋さんに行く予定を決めました。家族の顔を思い浮かべながらパンを選んでいる姿
は、とても微笑ましいものでした。帰りの船は憂鬱のようでしたが、母島の港に着きご家族の
姿を見るとほっとした様子でした。ハードスケジュールの3日間でしたが色々な経験をし、多
くのことを学ぶことができました。事前の健康管理や準備のご協力をありがとうございました。
これから学習のまとめをしっかりと行います。

初めて見るものや体験することばかりの修学旅行でした。9泊10日という長い期間を友達と共に生活することも初めての経験でしたが、助け合って生活し、学習の成果はもちろん、4人のチームワークが高まった修学旅行になりました。

職場体験

「修学旅行を通して、最も印象に残った経験になった」と話す生徒もいます。花さんは都立中央図書館でカウンター業務や本の選定等、様々な部署の仕事を体験させていただきました。花さんの体験レポートはFacebookで公開されていて、充実した体験になったことがよくわかります。みくるさんと菜々子さんは上野動物園でキリンやサイ等の大型動物の飼育とアカガシラカラスバトの飼育施設の見学をしました。母島では触れ合えない大型の動物の飼育が特に印象的だったようです。真帆さんは中央理美容専門学校でヘアカットの体験やヘアショーの見学をしました。年齢が近い学生さんと話すこともできて、よい刺激を受けたようです。

奈良・京都

日	行程
5/9	興福寺・東大寺・伏見稻荷の見学、ギター・ウクレレ演奏会
5/10	タクシー行動（龍安寺、金閣寺、白峰神宮、銀閣寺）、バス行動（清水寺、東寺、妙心寺）
5/11	座禅体験、襖絵見学、クラス旗作成、伝統工芸体験
5/12	太秦映画村

奈良では阿修羅像や東大寺の大仏は教科書の写真では伝わらない迫力やつくりの細やかさに感動していました。京都では教員と離れ、4人だけのタクシーやバスでの行動もありましたが、チームワークを発揮し、大きなハプニングもなく無事に回ることができました。

4人は「伝統的な行事」「神社と寺の歴史」「昔の服装や髪形」「建物のつくりと街並みの保存」というテーマをそれぞれ設定し学習に取り組んできました。毎晩のミーティングでは、学んだことや印象に残ったことなど真剣に、そして楽しそうに話していて、毎日充実した学習ができたのだと感じました。

また、母島小中学校の修学旅行だからこそできた体験がたくさんありました。妙心寺襖絵師の村林由貴さんやギターとウクレレ奏者の森田大地さんと大江和基さんとの交流もその1つです。

横浜・東京

横浜では「オービィ横浜」に行き、動物と触れ合ったり、様々な動物に関するアトラクションを楽しみました。お台場では、そなエリアやソニーエクスプローラサイエンスでの学習の後、4人での自由行動。「4人が内地で一緒にいるのって新鮮で楽しかった!」と、戻ってきた4人の楽しそうな表情が忘れられません。その後は劇団四季の観劇、そして懐かしい友達や先生方との面会と慌ただしく行動しました。たくさんの方が4人に会いに来てくれて、温かい、すてきな時間を過ごすことができました。

10日間の修学旅行ではたくさんの方にお世話になりました。感謝の気持ちを忘れず、事後学習に取り組んでほしいと思います。

6月の生活指導

生活目標

「行事と学習に真剣に取り組もう」

- ・ 行事の目標を考えてしっかり準備しよう。
- ・ 思いやりの心をもとう。
- ・ 悩みごとは、周りの人に相談しよう。

安全指導 5日(月)

「雨の日の過ごし方」が重点指導目標です。雨が続く時期は、湿気が多く、廊下がとても滑りやすくなります。また、体育館で遊ぶことや図書室の利用が多くなります。安全に学校生活を送るための生活の仕方を考えさせ、実践させていきます。

避難訓練 1日(木)

災害発生時に児童生徒を安全・確実に保護者へ引き渡す訓練を実施しました。

津波・地震・台風接近などの災害時に、児童生徒を保護者へ引き渡す際の体制を確認します。また、保護者が引き取りに来られない場合に、引受人を確認することや連絡体制を確認するなど、有事に備えた訓練を実施しました。ご協力、ありがとうございました。

水泳指導について

水不足により開始が危ぶまれた水泳指導ですが、当初の予定通りに開始できることになりました。現在は、プール清掃や入水など、施設の準備を整えているところです。

ご家庭でも、体調管理や持ち物の準備等、円滑に学習が進められますようご配慮をよろしくお願いいたします。詳細は、各学年だよりをご覧ください。

プール開き(水泳指導始め)

6月12日(月)



海での遊泳等に関する注意

湾内でイタチザメが目撃されています。村からの情報に留意し、児童生徒の安全のため以下のことにご注意ください。

- 当面の間は、海では泳がないこと。
- 海辺に行く場合は、必ず大人と一緒にいくこと。

※学校での海水泳については実施を検討し、後日、お知らせしてまいります。

6月の主な行事予定

			16	金	南崎校外学習①(小1・2)
1	木	体力テスト 避難訓練(引き渡し訓練)	17	土	
2	金	村内清掃	18	日	ゲートボール大会
3	土		19	月	朝礼(保健指導)
4	日		20	火	
5	月	朝礼(安全指導)	21	水	期末考査(中)
6	火	ブラッシング指導(小1~4) 心肺蘇生法講習会(中)	22	木	期末考査(中)
7	水	行事前検診(中1) ブラッシング指導(小5・6)	23	金	期末考査(中)二子島校外学習(小4・5)
8	木	平島移動教室(中1)始	24	土	返還祭(前夜祭)
9	金	平島移動教室(中1)終 南崎校外学習(小1・2)	25	日	返還祭(当夜祭)
10	土		26	月	中朝礼 平島移動教室①始
11	日	駅伝大会	27	火	パンの日 平島移動教室①終
12	月	小朝礼(6年) プール開き(水泳指導始)	28	水	
13	火	スクールカウンセラー在島(~16日まで)	29	木	乳房山校外学習(小3)
14	水		30	金	二子子島校外学習②
15	木				